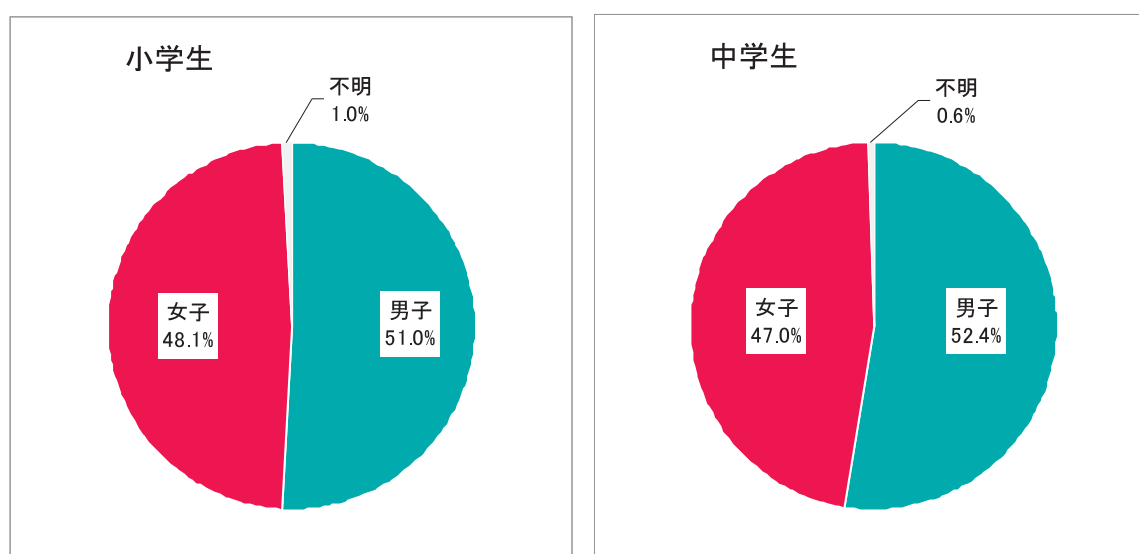


(3) 小中学生アンケート調査結果

① アンケート配布・回収状況

| | 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|-----|-------------------|-------|-------|
| 小学校 | 111 通 | 104 通 | 93.7% |
| | (参考 H16 年度 510 通) | 491 通 | 96.3% |
| 中学校 | 178 通 | 168 通 | 94.4% |
| | (参考 H16 年度 540 通) | 344 通 | 63.7% |

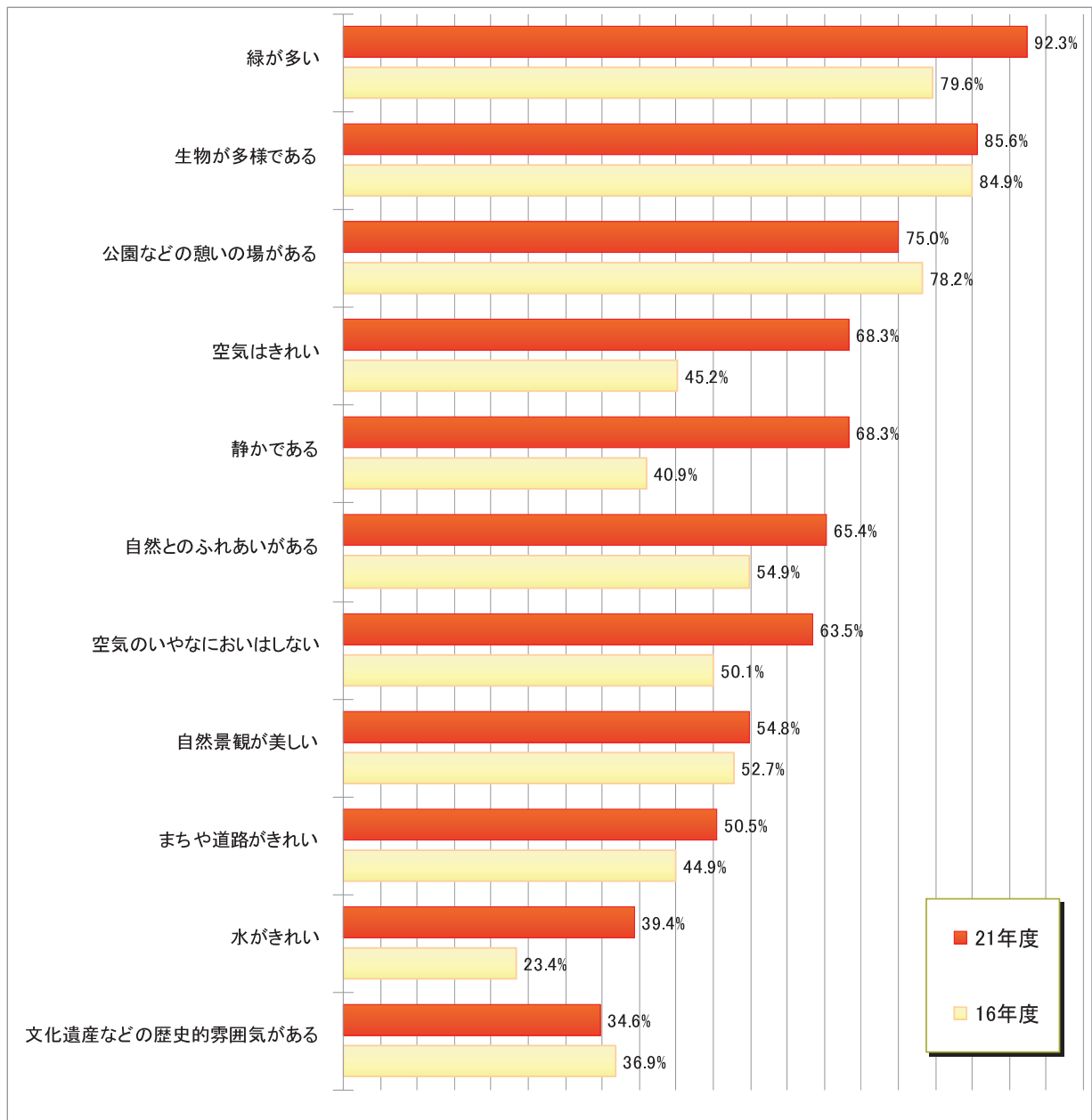
アンケート対象データ



②調査結果

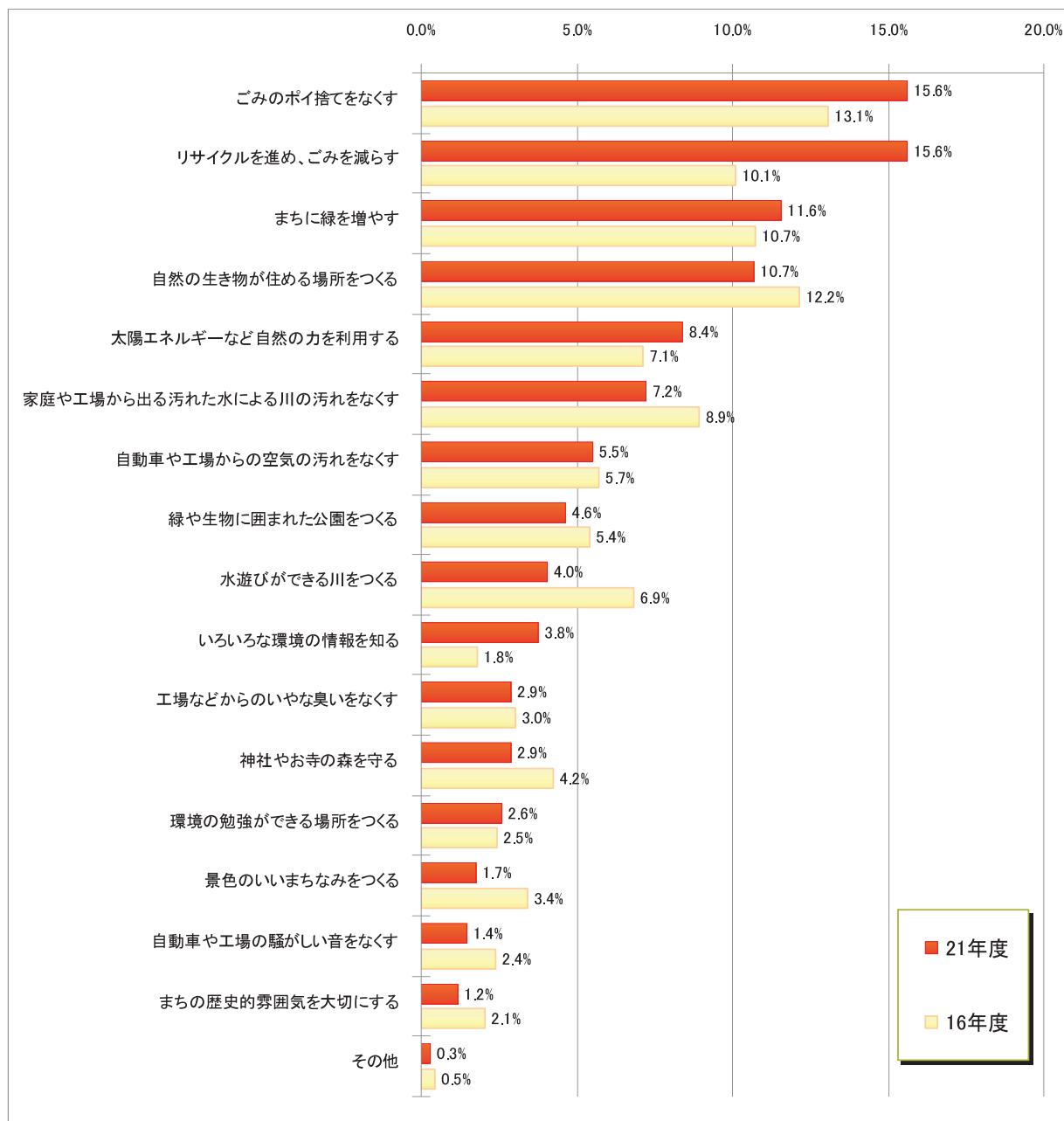
◆居住地区の環境について(小学生)

「家の周りの環境」についての回答結果を見ると、前回のアンケートの時よりも“環境が良い”と回答した割合が多くなっています。



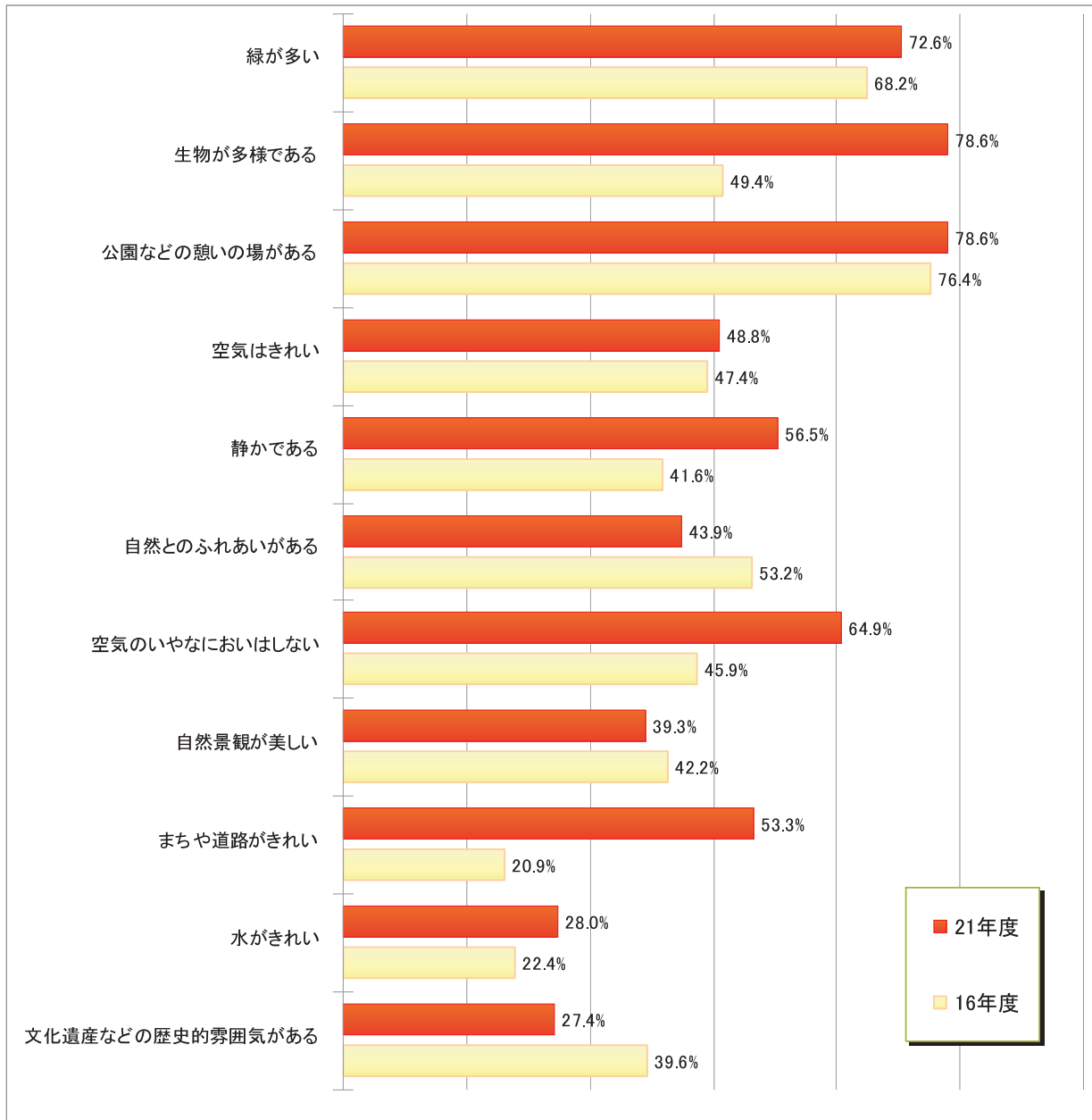
◆環境を良くするためにすべきことについて(小学生)

ごみやリサイクルに対する認識度は増加しています。それとは反対に、生き物が住める場所やきれいな川といった自然環境について若干減少しました。ごみやリサイクルだけでなく、自然とのふれあいの中で自然保護の大切さを学ぶ場を提供をする事業の推進が必要です。



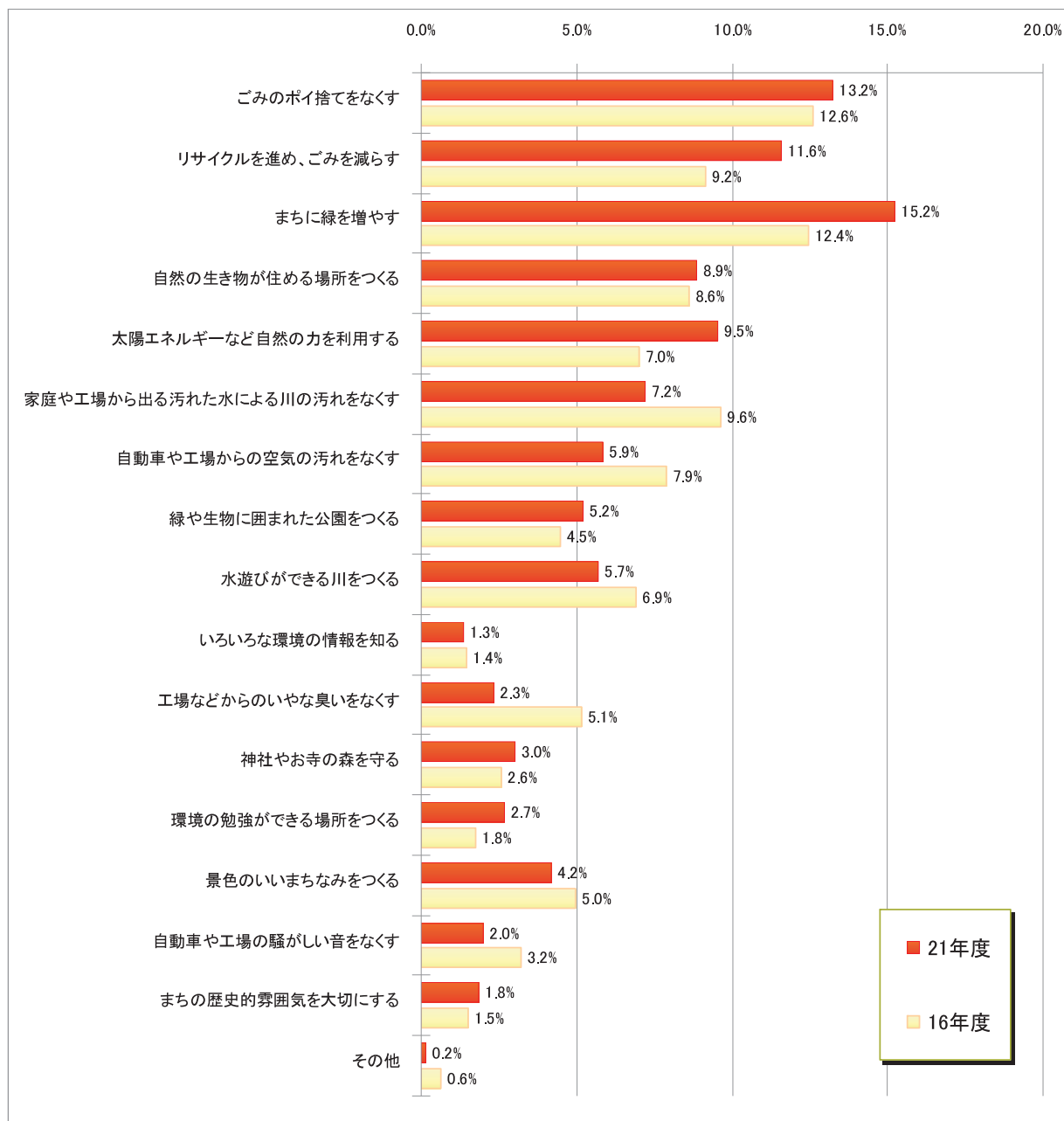
◆居住地区の環境について(中学生)

「家の周りの環境」についての回答結果を見ると、前回のアンケートの時よりも“環境が良い”と回答した割合が多くなっています。



◆環境を良くするためにすべきことについて(中学生)

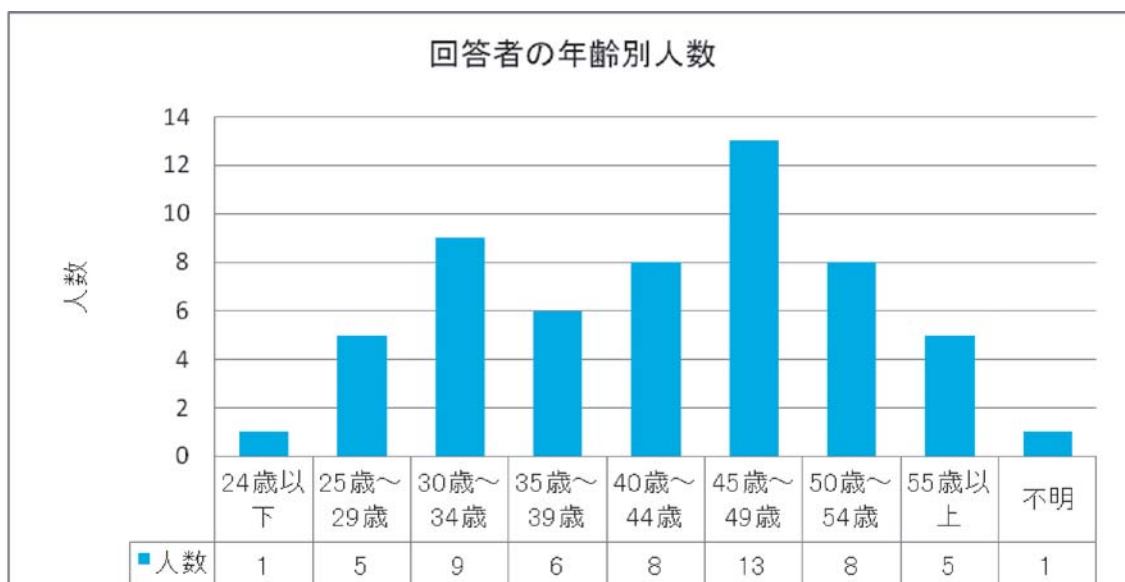
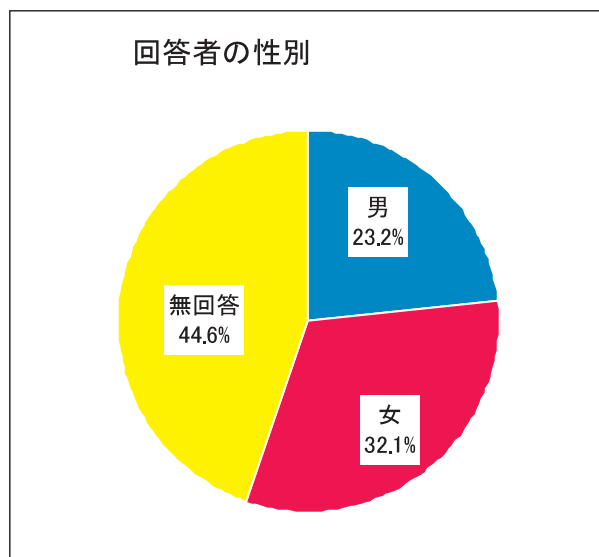
ごみやリサイクルに対する認識度は増加しています。それとは反対に、大気や水質、悪臭に関する認識が減少しています。



(4) 教員アンケート調査結果

① アンケート配布・回収状況

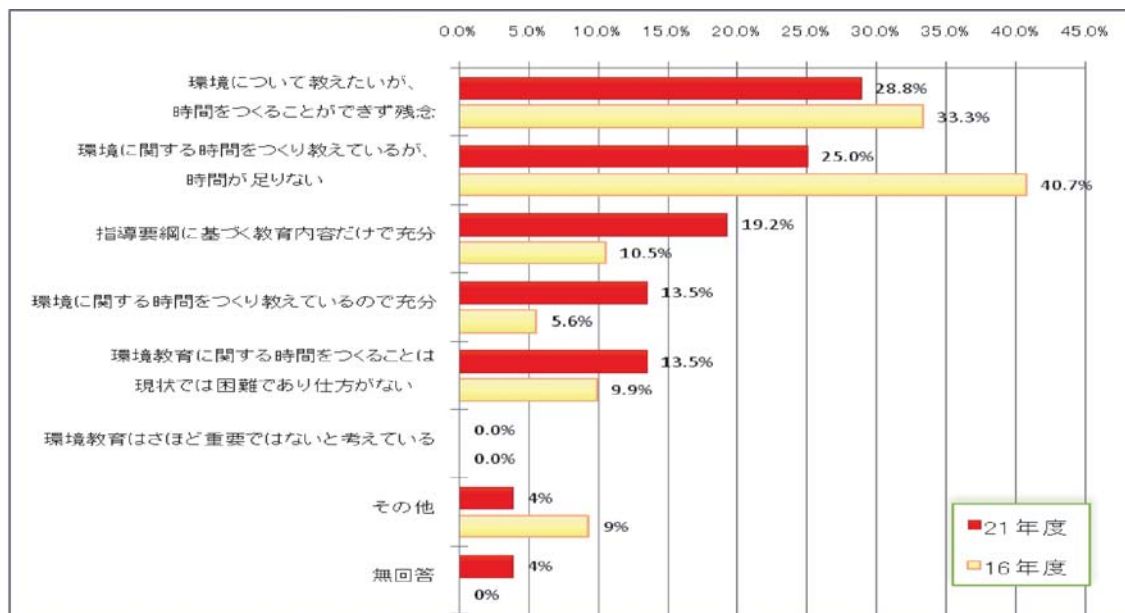
| | 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|-------|-------------------|-------|-------|
| 小・中学校 | 74 通 | 56 通 | 75.7% |
| | (参考 H16 年度 289 通) | 191 通 | 66.1% |



②調査結果

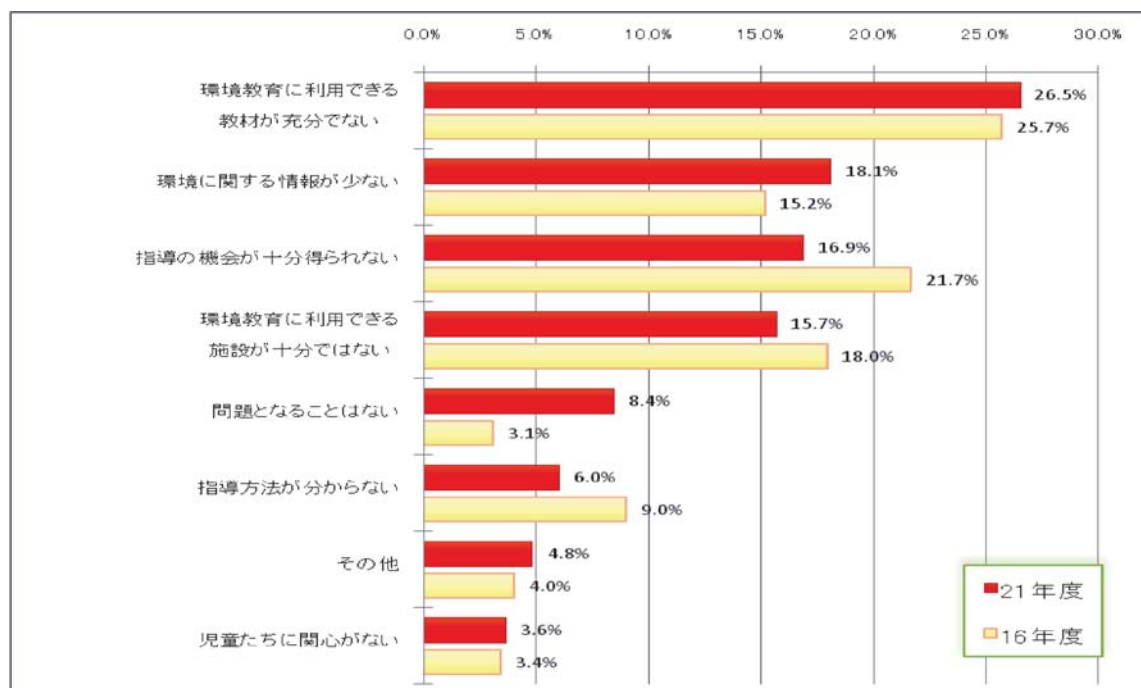
◆環境教育の時間について

‘環境の教育に対する時間が足りない’という回答が減少し、‘指導要綱に基づく教育内容だけで十分’という回答が増加していますが、各教科において教科書に環境に関する内容が多く取り上げられるようになったことが背景にあると思われます。



◆環境教育を実施する上での問題点について

前回のアンケートと比べ、教育に必要な教材や情報が少ないとの回答が増加しました。環境について教えるための「環境」作りが必要であると思われます。



◆環境問題に対する子供たちの関心

全体的に環境問題について関心が高く、特に、テレビや新聞などで話題となっている“ごみやリサイクルの問題地球温暖化”についてはよく知っているという結果となりました。

